

「四国は紙國」 商機拡大ツール
マッチングサイトとして今後を期待

(四国通信) 紙の総合
マッチングサイト『四国
は紙國』(写真)は、三
月開設以来半年以上を経
過した。会員各企業ホー
ムページへのジャンプ数
も二〇〇件を超え、商
品開発や販売締結など具
体的な商談成立に至った
ケースも多い。

四国産業・技術振興
センター(STEP)ス
テップ)は、四国紙産業
の振興へ四国産業経済局
の補助を受け平成二十二
年度からさまざまな分野
に適應できる多様な機能
素材や、新しい付加価値
を提供する「高機能紙関
連産業群」の創出育成事
業を行っており、この一
貫として『四国は紙國』
が開設された。

四国地域は日本一の紙
産業集積地であり、大手か
ら中小まで約四二〇社の
関連企業が立地する。全
国四カ所の紙研究機関中
二カ所が愛媛と高知にあ

る施設面の優位性、特化

した技術者養成プログラ
ム、高度な製紙・加工技
術を保有するなどの強さ
の反面、情報発信力や商
品開発力の弱さや不利な
立地条件などが常に指摘
されていた。「四国地域
における紙産業振興のた
めの体制を考える会」が、
最大の紙産業集積を活用
し、ITを駆使した情報
発信やビジネスマッチン
グを通じて商機拡大に繋
げるため、「次世代紙関連
産業創出情報収集・発信
検討会」(委員長＝愛媛大
大学院紙産業コース内村
浩美教授)を立ち上げ基
盤強化に取り組んだ。

高機能紙など3分科会で
支援

さらにSTEPは四
国イノベーション創出協
議会と一昨年十一月、四
国内外の大学や公設試験
研究機関が保有する技術
シーズと、高い技術力を
持つ四国内の紙関連企業
をマッチングさせる

ネットワークフォーラム
を開催するなど紙産業界支
援を積極的に打ち出して
きた。

紙専門のイノベーション
ンコーディネーター(所
属機関)に岡崎正樹(西
条産業情報支援セン
ター、紙)、小林良生(香
川県産業技術センター、
紙)、関正純(高知県立紙
産業技術センター、紙)、
野々村俊夫(元徳島県立
工業技術センター、紙・
化学)、林幸男(元高知県
立紙産業技術センター、
紙)、藤原勝壽(愛媛県紙
パルプ工業会技術顧問、
紙産業技術全般、人材育
成など)、細川純(産業技
術総合研究所、天然高分
子の工業化学、食品、紙)
の七氏を連ね任に当たっ
ている。

サイトトップページ

には全国の紙産業ニユー
スなどの情報発信や商品
別、機能別に検索できる
情報収集、紙に関する問
い合わせ機能を持たせて
いる。さらに紙に関する
会員各企業のホームページ
へのリンクなど素早い
対応が図れる。四国紙関
連企業と県外ユーザーと
のマッチングは、一部企



業でアクセス数増加によ
り問い合わせ、引き合い
件数が著増したとの報告
も聞かれる。会員数拡大
などまだ課題も多いが、
今後の展開が期待され
る。